

総合かぜ薬

コルゲン^{ユー}IB2

本剤は、有効成分の溶け出し方をコントロールした製剤です。カプセルの中には溶け方が違う2種類の顆粒剤の組み合わせになっていて、服用するとまず先にオレンジ色の顆粒が溶けて効きめをあらわし、ゆっくり溶ける白色の顆粒があとから効きめをあらわします。

また、1日2回の服用で効きめをあらわすよう、炎症に対してすぐれた効きめを持つイブプロフェンや鼻汁抑制作用を持つヨウ化イソプロパミドなど、かぜに効く6つの成分を効果的に処方してあります。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

① 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15歳未満の小児。
- (4) **出産予定日12週以内の妊婦。**

② 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)、胃腸鎮痛鎮痙薬

③ 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

(眠気や目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがあります。)

④ 服用前後は飲酒しないでください

⑤ 5日間を超えて服用しないでください

🗨️ 相談すること

① 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。(4) 高齢者。(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の症状のある人。 高熱、排尿困難(7) 次の診断を受けた人。 甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病(8) 次の病気にかかったことのある人。 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病

② 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい、頭痛
循環器	動悸
呼吸器	息切れ、息苦しさ
泌尿器	排尿困難
その他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中の痛み、過度の体温低下、からだがだるい、顔のほてり、異常なまぶしさ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック(アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(ステイブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。

無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
心筋梗塞*	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷や汗が出る。*
脳血管障害*	意識の低下・消失、片側の手足が動かしくくなる、頭痛、嘔吐、めまい、しゃべりにくくなる、言葉が出にくくなる等が急にあらわれる。*
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

- ③ 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください 便秘、口のかわき、眠気
- ④ 3～4回服用しても症状がよくならない場合(特に熱が3日以上続いたり、また熱が反復したりするとき)は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効能・効果

かぜの諸症状(のどの痛み、発熱、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、せき、たん、悪寒、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

用法・用量

下記の量を朝夕食後なるべく30分以内に水又は温湯で服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	2カプセル 	2回
15歳未満の小児	✕服用しないこと	



<用法・用量に関連する注意>

① 用法・用量を厳守してください。② カプセルの取り出し方: 上図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

成分・分量(2カプセル中)

●イブプロフェン 200mg ●*d*-クロルフェニラミンマレイン酸塩 1.75mg
●ヨウ化イブプロパミド 2.5mg ●デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物 24mg
●*dl*-メチルエフェドリン塩酸塩 30mg ●無水カフェイン 37.5mg
〔添加物〕D-マンニトール、セルロース、カルメロースCa、ヒドロキシプロピルセルロース、アクリル酸エチル・メタクリル酸メチル共重合体、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル、タルク、ヒプロメロース、二酸化ケイ素、クエン酸トリエチル、黄色五号、酸化チタン、ラウリル硫酸Na、ゼラチン

保管及び取扱い上の注意

① 高温をさげ、直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。② 小児の手の届かない所に保管してください。③ 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)

④ PTPのアルミ箔が破れたり、中身のカプセルが変形しないように、保管及び携帯に注意してください。⑤ 使用期限(外箱に記載)をすぎた製品は服用しないでください。

本製品に関するお問い合わせ

お問い合わせ先のお店又は下記へお願いします。

興和株式会社 医薬事業部 お客様相談センター

TEL 03-3279-7755 FAX 03-3279-7566
受付時間: 月～金(祝日を除く) 9:00～17:00

Y1533R
S4K
000005M

●興和製品サイト <https://hc.kowa.co.jp/otc>



製造販売元 興和株式会社

〒103-8433 東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

Languages

English

简体字

繁體字

한국어



<https://hc.kowa.co.jp/otc/tenpu>